

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 01020070

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	町民主体のまちづくりの推進	事業優先度	B		
単位施策	3	町民との協働体制の構築	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町統計調査員協議会補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	1 総務課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	協議会の円滑な運用による統計調査員の資質向上		関係課	#N/A		
事業目標	各種統計調査における正確性・迅速性		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	有	各種統計調査における調査協力	関係例規・法令名	無		
住民協働			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	雄武町統計調査員協議会に対する運営補助金 交付	運営補助金交付	運営補助金交付	運営補助金交付	運営補助金交付	運営補助金交付
	事業費(千円)	150	30	30	30	30
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	220	130	30	30	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		運営補助金交付 40周年記念事業補助金交付	運営補助金交付	運営補助金交付	運営補助金交付
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	調査の正確性・迅速性	調査の正確性・迅速性	調査の正確性・迅速性	調査の正確性・迅速性
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	433%	100%	100%	100%
	全体達成率	87%	107%	127%	147%	
	備考欄					

事業名	雄武町統計調査員協議会補助事業	評価者 管理職 職氏名	総務課長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	情報統計係長	内宮 真希

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	統計調査員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	団体への補助実績		
【抱える課題やニーズは】	調査員としての資質向上及び連携不足による各種調査への影響		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各種研修への積極的な参加により、資質の向上を図るとともに調査員相互の連携を図る。		① 補助実績 運営費補助 (総会、研修会等)	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	資質向上及び調査員間における情報交流・協力を図り、精度の高い統計調査を推進する。			目標値	30千円
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	雄武町統計調査員協議会運営費補助	協議会が開催する各種会議及び研修会等への参加に要する経費等、協議会運営に係る経費について補助を行った。	実績値	30千円	
			達成度	100.0%	
			②	目標年度	平成28年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	協議会の運営経費は、各種統計調査従事報酬の一部を財源としており、研修会等への参加や会議の開催に係る不足分には補助金が必要不可欠である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	補助金収入により定期的な会議の開催及び研修会等へ参加することができ、調査員間の情報交流・協力が図られ、各種統計調査において訂正箇所や提出期日の遵守が計られている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	昨今の各種統計調査に係る報酬減額の中で、統計行政への協力的活動を行っている当該協議会への補助については、過去に実施された各種統計調査の結果等(協力体制及び実施内容)を踏まえ、非常に効果的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	協議会運営のための経費については、各種統計調査に従事した調査員の報酬の一部を会費としているが、円滑な会の運営のためには、町の補助は公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
基幹統計の実施にあたり、当該協議会との連携協力や調査員の資質向上は必要不可欠であり、計画どおり事業実施することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
協議会への補助事業は、単に会への運営補助のみならず、行政が施策展開する上での基礎資料となる各種統計調査の円滑な遂行につながるものであり、今後も最低限現状維持する必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止